

特殊講義(公的統計概論)
2013年度第2学期火曜3限

2013/10/1

担当:経済学研究科 竹内恵行

2 1. イントロダクション

(2013年10月1日授業)

2013/10/1

授業目的

3

- 日本の公的統計制度を概観する
- 統計資料の性質を理解し、データの正しい利用ができる知識を獲得する
- 到達目標
 - 日本の公的統計の体系を理解すること
 - 正しい利用のために、統計データに固有の性質を理解すること
- 2011年度開講の各論(統計制度と統計資料)のマイナーチェンジ版

2013/10/1

講義計画

4

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. イントロダクション | 10. 各論(4): 生産・投資統計(1) |
| 2. 日本の統計制度 | 11. 各論(4): 生産・投資統計(2) |
| 3. 統計調査とは | 12. 各論(5): 貿易関連統計 |
| 4. 統計データの収集法・加工法 | 13. 各論(6): 企業活動統計 |
| 5. 各論(1): 人口統計 | 14. 各論(7): 金融統計 |
| 6. 各論(2): 国民経済計算(1) | 15. まとめ |
| 7. 各論(2): 国民経済計算(2) | |
| 8. 各論(3): 生活関連統計(1) | |
| 9. 各論(3): 生活関連統計(2) | |

2013/10/1

教科書&参考書

5

- 教科書
梅田・宇都宮(2009),『経済統計の活用と論点(第3版)』, 東洋経済新報社
- 参考書
作間編(2003),『SNAがわかる経済統計学』, 有斐閣
- データブック(手軽なもの)
総務省統計研修所編『日本の統計』日本統計協会
" " 『世界の統計』 "

2013/10/1

授業の進め方および成績評価

6

- 授業の進め方
 - 基本的にスライド&板書
 - 必要に応じて、実際のデータを見て、ディスカッションをすることも
- 成績評価
 - レポート課題(冬休みの宿題?)
 - 細かい内容までは詰めていないが、ある課題に沿って公表されている統計データを探して分析する、というものを考えている
 - 期末試験

2013/10/1

この授業を開講した動機

- 最近の大学院生、若手研究者と接して気付いたこと
 - 商用データベースサービスに依存しすぎる傾向
 - データが作成される背景にあまり関心を持たない
 - 一次資料と二次資料の違いをあまり気にしない
- 統計データが単なる数字の羅列ではなく、その時点の社会状況がある条件の下で切り取った「現実(fact)」であることを理解してもらう必要がある!!

2013/10/1

公共財としての統計データ

- 公的統計データ
 - 一国の国力(人口、生産力、等)を知ることは国家にとって重要な関心事
 - 公的権力を行使して、精度の高い情報を収集する
- ↓
- 国情学/国勢学(Statistik: 独)にもとづく社会統計の整備
- 収集および整理のコストが莫大であるため、民間では供給できない

2013/10/1

Big Data と公的統計

- 最近話題になっているBig Data
 - 民間の事業活動等によって自動収集されるデータ
 - コンビニのPOS(point of sales)データ
 - 検索サイトの検索ワード
 - 携帯電話のGPS情報
 - Suicaの利用情報 など
- 公的統計との違い
 - 長期間にわたり第三者が使用することを意識して収集されたものとは限らない
 - 必ずしも定型化・構造化されてはいない
 - データの質(quality)や継続性が保証されない

2013/10/1

国勢調査(population census)とその実施機関としての政府統計機関の設立

国	国勢調査の開始年	政府統計機関の設立年
アメリカ	1790年	1902年 Census Bureau
イギリス	1801年	1837年 General Register Office (Office for National Statistics)
フランス	1801年	1840年 Statistique Générale de la France :SGF (Institut National de la Statistique et des Études Économiques: INSEE)
スペイン	1857年 (1798?)	1856年 La comisión de Estadística (Instituto Nacional de Estadística: INE)
イタリア	1861年	1926年 l'Istituto centrale di statistica (Istituto nazionale di statistica: Istat)
日本	1920年	1885年 内閣統計局 (総務省統計局)

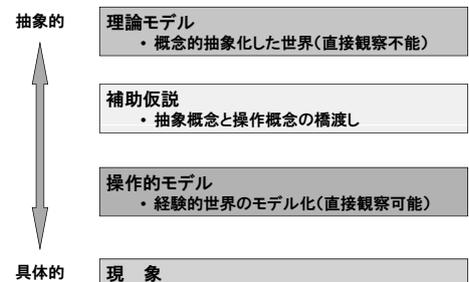
2013/10/1

統計データを利用する際の注意事項

- 統計データにおける「名称」が示す内容(定義)
 - (抽象)理論モデルにおける「概念」
 - 日常生活上の「用語」の意味
 と一致するとは限らない(どちらとも異なることがある)
 - 統計データは継続性に意義がある
 - 内容(定義)の変更は頻繁に行えない
 - その結果、時代の変化を反映しきれないこともある
- ➡ 統計データの定義
現象に関する制度や歴史 } 等の知識が必要

2013/10/1

理論モデルと現象との関係



2013/10/1